

16期11号 医療安全ニュース

今回のテーマ:「グッジョブ報告」で一步先の安全を



インシデント報告への「心のハードル」を下げよう

イメージ

責められる？

怒られる！



反省文？

書くのが
めんどくさい！

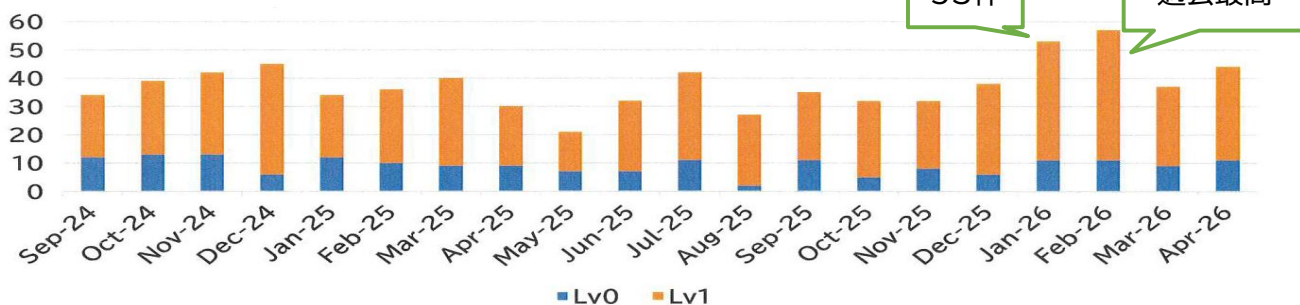
インシデント報告書は①事故の把握

②医療ミスの予測や再発防止 に役立てられます

つまり⇒皆さんの「気づき」が同僚や患者さんを守るための貴重なデータになります

気づきが文化を変えた！！

2024年9月～2026年4月
Lv0・Lv1報告書件数



2024年8月 グッジョブ報告を呼びかけて以来、院内の報告文化は変化しました。2026年2月には過去最高件数を記録しました。しかし、内訳をしてみるとLV1に比べてLV0の提出が少ない事がわかります。

どんな時に書けばいい？

全職員共通の基準です

Lv0(未然防止):「あっ危ない」と患者さんに実施する前に気づいた

Lv1(実害なし):実施はしたが、患者さんに影響がなかった



グッジョブ報告事例紹介(当院)

	事例	ここがグッジョブポイント
①	封筒に封をする前に書類の中身を確認すると別患者の書類が入っていた	中身を確認したことで個人情報の流出を未然に防いだ
②	医師指示では「ソリタ1」であるが、「フィジオ」が準備されていた	照合を確実にしたことで患者に誤薬させずに気づくことができた
③	牛乳禁止の患者さんに牛乳を提供した。配膳時に発見した。	食札のアレルギー欄を確認したことで、患者が摂取せずにすんだ
④	訓練中、左足部が引っ掛かり、そのまま前方に両膝を付くような形で転倒しそうになった。通りかかった看護師に助けを呼んだ。	通常実施している距離感での訓練をすることで、代診者でも転倒を防ぐことができた。また、看護師に助けを呼ぶこともできた。

事例のような間違いを未然に防げた経験はありませんか？それは当たり前ではなく「グッジョブ」なのです。そんなグッジョブ報告をお待ちしています。



今月の一言

「おかしいな」 その気づきこそ グッジョブ報告

この川柳はAIによって作成されたものです

2026年5月21日 医療安全管理部門会議
医療安全管理室